

FAX 03-3434-5505

ホームページでのお問い合わせ・お申込みは
<http://isoweb.jma.or.jp/>

※2018年1月よりオフィスを移転します。電話番号等の詳細につきましては、随時ホームページでご案内します。

参加申込規定

DK

参加料 (税抜) (1セミナーにつき)

一般社団法人日本能率協会 法人会員	34,000円 / 1名
会 員 外	39,000円 / 1名

※テキスト(資料)費・昼食費が含まれております。
 ※本事業終了時の消費税率を適用させていただきます。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<http://www.jma.or.jp/membership/>

参加申込方法

- ① 申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXをお送りいただくか、ホームページから申込みいただけます。正式申込みとして受領されます。開催間際のお申込みは、ご参加いただけないこともあります。あらかじめ電話でご確認ください。
- ② 電話ではご予約のみの承りになります。その場合でも、申込書は必ずお送りください。
- ③ 参加証・請求書は開催1カ月前から発送いたします。なお、1か月以内のお申込みの時は、申込書受領後1週間ほどで参加証・請求書を発送いたします。
- ④ 参加料は開催前日までに請求書の銀行口座へお振込みください。開催後のお振込みの場合は、請求書の「入金連絡票」にてお振込み日をご連絡ください(振込み手数料は貴社でご負担ください)。

キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方も都合がつかない場合は、下記によりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。
開催7日前～前々日(開催初日を含まず起算)..... 参加料の30%
開催前日および当日..... 参加料全額
 万が一キャンセルの場合は必ずファックスにてご連絡ください。

参加日程の変更

参加日程の変更については1回のみ可能といたします。電話でご確認後所定のお手続きをお取りください。なお変更のお申し出の日付により上記キャンセル料を申し受けますのでご了承ください。変更は同一年度内(2017年4月～2018年3月)に限りです。

ご注意

- ・お申込みをいただいた方にはセミナーインフォメーションをお送りすることがあります。
- ・講演の録音・撮影はご遠慮ください。
- ・テキストは会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストをおわけしません。
- ・開催可能な人数に満たない場合は、開催中止または延期する場合があります。

会場案内

会場は、参加証送付時にご案内します。
 ※2018年以降は会場(東京)が変更となります。(港区・芝公園へ移転予定)

法人会員入会のおすすめ

小会法人会員にご入会いただくとセミナー参加料金割引などのサービスがございます。セミナー参加申込に併せて小会法人会員への入会を是非ご検討ください。
 詳細は→<http://www.jma.or.jp/membership/>

免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。

プログラム内容のお問い合わせ先

一般社団法人 日本能率協会 ISO研修事業部
 TEL: 03-3434-1242(直通) FAX: 03-3434-1243

参加申込先

一般社団法人日本能率協会 JMAマネジメントスクール
 [現連絡先:2017年12月末まで] ※2018年1月よりオフィスを移転します。
 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階
 FAX: 03-3434-5505 TEL: 03-3434-6271(直) e-mail: seminar@jma.or.jp
 (受付時間)月～金曜日9:00～17:00(ただし祝日を除く)
URL <http://school.jma.or.jp/> (セミナーの最新案内など各種情報をご案内)
 ※2018年1月よりオフィスを移転します。電話番号等の詳細につきましては、随時ホームページでご案内します。

個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会ホームページにて掲載されております。小会の個人情報等保護方針(<http://www.jma.or.jp/privacy/>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡・運営、本研修修了(または受講)者の本人確認と証明書の発行・管理、および小会主催の関連催しのご案内送付等に使用させていただきます。

参加証・請求書はこの方へてお送り致します。それ以外をご希望の場合は、【連絡希望事項欄】へご記入ください。

2017.9 第6版

参加申込書 ISO9001/ISO14001 2015年版 規格改訂対応シリーズ									
<input type="checkbox"/> ISO9001規格改訂対応ポイント解説セミナー		<input type="checkbox"/> ISO14001:2015対応 環境マニュアル改訂/手順書の見直しセミナー							
<input type="checkbox"/> ISO9001:2015対応 品質マニュアル改訂/文書体系の見直しセミナー		<input type="checkbox"/> ISO14001内部監査員 2015年版差分対応セミナー							
<input type="checkbox"/> ISO9001内部監査員 2015年版差分対応セミナー									
ふりがな		ふりがな		<input type="checkbox"/> 一般社団法人日本能率協会 法人会員 <input type="checkbox"/> JMAQA登録者 <input type="checkbox"/> 会員外		【連絡希望事項欄】			
会社名 (正式名称)		事業所名							
所在地	〒	TEL	()	FAX		()			
メール配信	希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない								
ふりがな		Eメール							
申込責任者		所属 役職名							
メール配信	希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない			受付No.		開催日程			
ふりがな		Eメール				東京 ・ 大阪			
氏名		所属 役職名				月 日			
所在地	〒	TEL	()	FAX		()			
申込責任者と異なる場合はご記入ください。									
メール配信	希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない			受付No.		開催日程			
ふりがな		Eメール				東京 ・ 大阪			
氏名		所属 役職名				月 日			
所在地	〒	TEL	()	FAX		()			
申込責任者と異なる場合はご記入ください。									
参加料 (税抜)	円 ×	名	合計	円	お振込予定日		月 日		
						参加証発行日	請求書発行日	領収日	

開催残りわずか!!

2017年度 開催案内

ISO9001 ISO14001

2015年版 規格改訂対応 シリーズ

最新情報・詳細はコチラから

ISOWEB

検索

ISO9001

ISO9001規格改訂対応ポイント解説セミナー

ISO9001:2015対応
品質マニュアル改訂/文書体系の見直しセミナー

ISO9001内部監査員 2015年版差分対応セミナー

ISO14001

ISO14001:2015対応
環境マニュアル改訂/手順書の見直しセミナー

ISO14001内部監査員 2015年版差分対応セミナー



一般社団法人 日本能率協会 ISO研修事業部

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階
 TEL: 03-3434-1242 FAX: 03-3434-1243 E-mail: isoweb@jma.or.jp <http://isoweb.jma.or.jp>

※2018年1月よりオフィスを移転します。電話番号等の詳細につきましては、随時ホームページでご案内します。

～2015年版へのスムーズな移行を実践～ ISO9001規格改訂対応ポイント解説セミナー

- ねらい ①2015年版での規格の理解を促します
②2015年版にスムーズに移行するための知識(移行スケジュールと対応のポイント)を習得します

会期 2018年 1月16日(火) 東京 2018年 3月15日(木) 大阪

会場 東京 日本能率協会 研修室
大阪 日本能率協会 関西オフィス 研修室

講師 宮澤 武 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師
糸魚川 浩司 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師

対象 ● ISO9001の推進事務局・管理責任者
● 品質保証、品質管理部門の担当者・責任者

プログラム		昼食時間12:00～13:00
10:00	① ISO9001:2015年版改訂の概要	
	② ISO9001の解説-2008年版と比較して- ～理解のための規格の勘所とは～	
	③ 規格改訂対応のポイント ● 移行スケジュール ● マニュアル等、文書類の取扱い ● 内部/外部の課題、リスク及び機会への取組み ● 品質方針 ● 運用 ● コミュニケーション ● トップマネジメントとコミットメント	
	④ 演習 2015年版の差分分析と実務(ケーススタディ) ① 組織の状況 ② リスク及び機会 ③ 事業プロセス統合	
17:00	▶ 会社に持ち帰り、すぐ実践できる「差分チェックリスト」の説明	

※プログラム内容は、変更される場合があります。

～スムーズな品質マニュアル改訂のポイント解説～ ISO9001:2015対応 品質マニュアル改訂 / 文書体系の見直しセミナー

本セミナーは、下記の疑問にお答えします

- 品質マニュアル作成の要求はなくなるので、作成する必要はないのか?
- 品質マニュアルは残すが、改訂する必要があるか?改訂が必要であれば、どのように改訂すればよいのか?
- “文書化された手順”の要求がなくなるので、既存の規定・手順書は廃止してよいのか?
- 「内部及び外部の課題」、「リスク及び機会」の決定や新規要求事項のために新たな手順の作成や記録を残さなければならないのか?

会期 2018年 1月17日(水) 東京 2017年11月14日(火) 大阪

会場 東京 日本能率協会 研修室
大阪 日本能率協会 関西オフィス 研修室

講師 宮澤 武 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師

対象 ISO9001改訂規格への移行を
予定している組織の管理責任者、事務局

プログラム		昼食時間12:00～13:00
10:00	① ISO9001:2015年版改訂の概要 ①規格改訂のポイント ②ISO9001:2008からの変更及び追加要求事項	
	② ISO9001:2015版の“文書化された情報”に関する 要求事項 ① “文書化された情報”とは何か ② ISO9001:2008の文書・記録の要求事項はどのように変わったか ・品質マニュアル、“文書化した手順”、文書・記録の管理 ③ 実質的には“文書化された情報”が必要となりそうな要求事項	
	③ QMS文書体系の特徴と改訂規格での文書体系の考え方 ①一般的な文書体系の特徴と問題点 ②規格改訂対応を通じた文書体系見直しのポイント	
	④ 品質マニュアル改訂と用語の表記方法 ①規格で使用されている用語とその定義 ②品質マニュアル及び文書類で使用される用語を見直す	
	⑤ 品質マニュアル改訂のポイントと進め方 ①品質マニュアルは“QMS全体を俯瞰(全体把握)する文書” ②既存品質マニュアルをベースとした改訂の方法 ③改訂規格に沿った構成の品質マニュアル改訂の方法	
17:00	⑥ 演習 自組織の品質マニュアル改訂及び文書体系の検討 ◆個人演習 →発表 →講師コメント ※実践的な演習実施のために、自組織の品質マニュアル及び文書体系一覧表などを持参されることを推奨します。	

※プログラム内容は、変更される場合があります。

～2008年版との差分を学び、2015年版対応の内部監査員を目指す～ ISO9001内部監査員 2015年版差分対応セミナー

- ねらい ①2015年版での規格の理解を促します
②2015年版での内部監査力量を担保します

会期 2017年10月30日(月) 東京 2018年 1月12日(金) 大阪
2017年12月11日(月) 東京
2018年 2月27日(火) 東京

会場 東京 日本能率協会 研修室
大阪 日本能率協会 関西オフィス 研修室

講師 宮澤 武 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師

対象 ● 2008年版でのISO9001内部監査員
養成コースを修了された方
● ISO9001内部監査員候補の方々、
推進事務局・管理責任者
● 品質保証、品質管理部門の担当者・責任者

プログラム		昼食時間12:00～13:00
10:00	① ISO9001:2015年版改訂の概要	
	② ISO9001の監査ポイント-2008年版と比較して- ～理解のための規格の勘所とは～ ●用語の定義の変化(2008年版と比較して) ●「4. 組織の状況」 ●「5. リーダーシップ」 ●「6. 計画」 ●「7. 支援」 ●「8. 運用」 ●「9. パフォーマンス評価」 ●「10. 改善」	
	③ ISO9001:2015年版に対応した監査プログラムと 監査手順の見直し	
	④ 演習 ISO9001の内部監査(ケーススタディ)	
	⑤ 理解度テスト、差分追加教育修了証授与	
17:00	▶ 持ち帰ってすぐ使える「監査チェックリスト」の説明	

※プログラム内容は、変更される場合があります。

このパンフに掲載されている公開研修は、講師派遣型研修も対応可能です。
下記までお気軽にお問い合わせください。

JMA 一般社団法人 日本能率協会
ISO研修事業部

TEL: 03-3434-1242 FAX: 03-3434-1243 Email: ISOWEB@jma.or.jp

最新情報・詳細はコチラから

ISOWEB

検索

～スムーズなEMS文書改訂のポイント解説～ ISO14001:2015対応 環境マニュアル改訂 / 手順書の見直しセミナー

本セミナーは、下記の疑問にお答えします

- 環境マニュアル作成の要求はないが、作成する必要があるのか?
- 環境マニュアルは残すが、改訂する必要があるか?どのように改訂すればよいのか?
- “手順”の要求が全て“プロセス”に変わったので、
既存の規定・手順書は廃止してよいのか?
- 「内部及び外部の課題」、「リスク及び機会」について
新たな手順の作成や記録を残さなければならないのか?

会期 2017年11月 7日(火)

会場 日本能率協会 研修室(東京)

講師 中川 優 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師

対象 ISO14001改訂規格への移行を
予定している組織の管理責任者、事務局

プログラム		昼食時間12:00～13:00
10:00	① ISO14001:2015年版改訂の文書化された情報に関する概要	
	② ISO14001:2015版の“文書化された情報”に関する要求事項 ①ISO14001:2004の文書・記録の要求事項はどのように変わったか ・環境マニュアル、“文書化した手順”、文書・記録の管理 ②実質的には“文書化された情報”が必要となりそうな要求事項	
	③ 環境マニュアル改訂と用語の表記方法について ①規格で使用されている用語とその定義 ②環境マニュアル及び文書類で使用される用語を見直す	
	④ 手順からプロセスへ	
	⑤ 環境マニュアル改訂のポイントと進め方 ①環境マニュアルは“EMS全体を俯瞰(全体把握)する文書” ②既存環境マニュアルをベースとした改訂の方法 ③改訂規格に沿った構成の環境マニュアル改訂の方法	
17:00	⑥ 演習 自組織の環境マニュアル改訂及び手順書の検討 ◆個人演習 →発表 →講師コメント ※実践的な演習実施のために、自組織の環境マニュアルを持参されることを推奨します。	

※プログラム内容は、変更される場合があります。

～2004年版との差分を学び、2015年版対応の内部監査員を目指す～ ISO14001内部監査員 2015年版差分対応セミナー

- ねらい ①2015年版での規格の理解を促します
②2015年版での内部監査力量を担保します

会期 2018年 1月29日(月) 東京 2018年 1月17日(水) 大阪

会場 東京 日本能率協会 研修室
大阪 日本能率協会 関西オフィス 研修室

講師 中川 優 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師

対象 ● 2004年版でのISO14001内部監査員
養成コースを修了された方
● ISO14001内部監査員候補の方々、
推進事務局・管理責任者
● 環境推進、CSR部門の担当者・責任者

プログラム		昼食時間12:00～13:00
10:00	① ISO14001:2015年版改訂の概要	
	② ISO14001の監査ポイント-2004年版と比較して- ～理解のための規格の勘所とは～ ●用語の定義の変化(2004年版と比較して) ●「4. 組織の状況」 ●「5. リーダーシップ」 ●「6. 計画」 ●「7. 支援」 ●「8. 運用」 ●「9. パフォーマンス評価」 ●「10. 改善」	
	③ ISO14001:2015年版に対応した監査プログラムと 監査手順の見直し	
	④ 演習 ISO14001の内部監査(ケーススタディ)	
	⑤ 理解度テスト、差分追加教育修了証授与	
17:00	▶ 持ち帰ってすぐ使える「監査チェックリスト」の説明	

※プログラム内容は、変更される場合があります。